

7月の出来事

田丸 あけみ

7月14、15日 5歳児のお泊り保育を行いました。

当日を迎えるまでに、子ども達と担任で一日をどの様に過ごすか、担任が中に入りながら、子ども同士で話し合い、内容を考えていきました。

当日は、お泊まり保育のワクワクした気持ちと、親と離れて一夜を過ごす事への寂しさとは、入り混じりながらも生き活きとした表情で過ごしていました。28名の子ども達全員が元気に当日を迎え、大きな怪我や、体調を崩すこともなく、無事にお泊り保育を終えることができました。

保護者の方には、お泊り保育に向けて、お願い事や、協力していただくことが多かったかと思います。本当にありがとうございました。当日の詳しい様子は、みかん組のページに載せていますのでご覧ください。

7月23日 “第1回根っこの集い”を保護者・育む会・職員の共催で行いました。(参加者：約70人)

当日、配布された資料には、

第1回を迎える「根っこの集い」は、アトム共同福祉会の保育園に通う「保護者」「職員」と卒園児の親、退職職員が組織する「育む会」の共催で行います。「根っこ」に込められた思いは、色々な考えや思いがあり、葉は枝分かれしているけれど、根っこの部分では違いを認め、繋がる事が出来る。参加した人が心の根っこの部分を安心して話すことができ、この場が回数を重ね、根づいていく場所になればという願いを込めて命名、企画いたしました。

という挨拶文が書かれています。

人が集い、語り合う中で、その人の心の揺れを知ったり、思いや、悩みを知りあう機会になります。

自分の心の内を話ししてもいいんだと感じる空気は、実行委員の人たちだけで作るものではなく、そこに参加している人、全員で作りに上げていくもだと思うのです。

その中に、私も参加しました。根っこの集いは、上手に語る必要はなく、思っている事を安心して語り合う場で、自分の感じた事に正解か？不正解か？と問うのではなく、今感じている事を素直に表現する事が重要なのです。そして、言葉にして話すことで、新たに見えてくる事や発見があったりすることもよくあります。

自分の思いを表現できる場や、人の話を聞き立ち止まって考える場は、大人の世界でも、とても大切な事だと私も参加して感じました。

私は、園長ながら、自分の気持ちを整理しながら、言葉にして人に伝える事が苦手なので、「上手にきれいに語る必要はない」という実行委員の方のメッセージには心が楽になりました。

上手に語らずとも、安心して、話せる場所や人を求めている大人は多くいると思います。

ぜひ、今回参加出来なかった方も、次回は、参加して一つでも何かを感じていただけたらと思います。

当日、参加出来なかった方で、“根っこの集い”の当日資料を見たいという方は、事務室に置いてありますので、ぜひ、声をかけて下さい。

最後に、当日参加していただいた保護者の方々、実行委員として準備から企画、当日まで中心になって動いていただいた、みかん組の武内さん、ぶどう組の榊井さん、瀧さん（瀧さんには、司会も担っていただきました）忙しい中、本当にありがとうございました。

アトムでは、保護者向けに“一日保育士体験”を実施しています。興味のある保護者の方、保育士体験をしてみたいという保護者の方は、事務室まで声をかけて下さい。申し込み用紙をお渡しします。